

国家機関の建築物等における吹付けアスベスト等の 使用実態に関する集計（フォローアップ）結果



国土交通省は、2020年3月31日時点の国家機関の建築物及びその附帯施設における吹付けアスベスト等の使用実態調査を集計（フォローアップ）しており、その結果を公表しました。

概要は以下の通りです。

1) 調査内容

- ・調査対象:各省各庁の所管する建築物等のうち、国有財産（行政財産に限る）に該当するもの
- ・調査建材:「吹付けアスベスト」及び「アスベストを含有する吹付けロックウール」
- ・調査方法:前回の調査結果に基づき各省各庁にて確認

2) 調査結果

○調査対象件数	…	81,912 棟	(100%)
・吹付けアスベスト等が使用されている件数	…	304 棟	(0.37%)
うち、封じ込め等の飛散防止措置を実施済みの件数	…	286 棟	(0.35%)
うち、未対策の件数	…	18 棟	(0.02%)
・吹付けアスベスト等が使用している可能性があるが 含有量が未調査の件数	…	2 棟	(0.003%)
○前年度との比較		2018 年度末	2019 年度末
・吹付けアスベスト等が使用されている件数	…	318 棟	→ 304 棟
上記のうち、未対策の件数	…	28 棟	→ 18 棟
・吹付けアスベスト等が使用している可能性があるが 含有量が未調査の件数	…	2 棟	→ 2 棟

3) 今後の対応

除去等の対策の実施、吹付けアスベスト等の有無の把握、必要な措置を適切に講ずるよう、各省各庁に対し保全指導及び情報提供を行う予定です。

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業（日本作業環境測定協会）で建材においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2020年9月4日付 国土交通省報道発表資料](#)

研究開発箇所 杉田高則

